

2021年度 日本工学院専門学校											
コンサートイベント科											
ミュージックリテラシー 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	研井 陽介			実務経験	有	職種	ライブ制作/アーティストマネージメント				
授業概要											
音楽業界、音楽に関連した職業に就くための知識を幅広く学習する。 音楽を職業として成立するために重要な著作権を基軸として、様々な権利の必要性和その行使方法の理解を深めることで、職業として音楽をとらえる意識を高める。											
到達目標											
音楽がビジネスとなるように、様々な権利を守り価値化している著作権を理解する。 著作権をきちんと理解することで、ビジネスチャンスを発見したり生み出したりする可能性があることを理解する。											
授業方法											
毎回、前後半2本立ての動画を作成し、受講時間内に閲覧可能な動画を視聴し 受講後にgoogle form にて、動画に対する設問に回答していく											
成績評価方法											
レポート1 第1回目から7回目までのまとめレポート 評価割合 25% レポート2 第8回目から14回目までのまとめレポート 評価割合 25% 出席（受講回数の反映）評価割合 25% 前期試験 1~14までの内容を問う成果測定を目的とした試験 評価割合 25%											
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度には厳しく対応する（特にオンライン対応の為、ふさわしい環境で受講しているか？） 授業時限数の4分の3以上出席の出席で前期試験を受験結果が有効となる。											
教科書教材											
適時、資料を提示。または参考プリントなどを配布。											
回数	授業計画										
第1回	著作権とは？ 音楽にまつわる著作権										
第2回	メジャーとインディーズの違い アーティストはどの時点から著作権が派生するか？そしてそれはどのような権利なのか？										
第3回	著作権が関係ある様々な事例、作品。どのような作り方をすると、どのような著作権が派生するか？										
第4回	JASRAC(日本音楽著作権協会)について JASRACの年間賞について調べることで流行を把握する。										
第5回	音楽をビジネスするために必要なこと。アーティストが作った楽曲やライブに金銭的な価値を生むためには、どのような方法があるか。まだどのような売り方があるか？										
第6回	著作権の種類について 複製権 演奏権、公衆送信権、伝達兼、譲渡間、貸与間、翻訳権、編曲権、翻案兼など										

2021年度 日本工学院専門学校	
コンサートイベント科	
ミュージックリテラシー 3	
第7回	音楽の著作権を金銭化できるカラオケについて。 2020年現在、楽曲が金銭に代わる確実な方法であるカラオケによる著作権収入について
第8回	オリジナル楽曲とカバーにおける著作権について。 オリジナル楽曲を作った人と、それをカバーして収入を得た人との存在する著作権について
第9回	類似した楽曲同士の著作権の考え方について。作られた時期や、その影響の度合いなど。
第10回	オリジナル楽曲と、そのアレンジをすることについて・リミックス、リマスター、リメイクなど、発表した後に加わるアレンジで、著作権にはどのような影響があるか？
第11回	パブリックドメインとはどういうものか？ 著作物や発明などの知的創作物について、知的財産権が発生していない状態または消滅した状態とはどういったものなのか？ またその具体例に関する事。
第12回	CDセールスが著作権収入のメインだった2000年前後について。その時期の作品群やそれらを生み出したアーティストがどのような権利を所持し、どのような売り方で経済的な成功を収めたのか？
第13回	パブリックドメインに該当している楽曲やその作者にはどのようなものがあるか？
第14回	様々に変化する社会情勢に対応したエンタテインメントのコンテンツ。 その中で著作権を派生させるために対応していくためには、どのようなアイデアとそれをどのように実現するか？
第15回	試験対策